

朗読サークル『あめんぼ』

ひとり語り

話 小栗 久江

《演 目》

「細川ガラシャ夫人」より

◇痘 痕 (三浦 綾子)

休 憩

◇ちっちゃなかみさん (平岩 弓枝)

『語の会』について

私が「ひとり語り」の定例会(年二回)を始めてから十四年たちました。その最初の舞台で扱った時代ものが、「細川ガラシャ夫人」で師匠から「これ、どこかでやったらん」と最初に言ってもらえたのがこの作品でした。長い作品なので、今日語るのは、第一章の「痘痕」のみで、ガラシャの母、瀬子(ひろこ)のエピソードです。苦しい時も、悲しい時ですらも、他人の心を思いやれる瀬子の存在は、強烈な印象で残り、私にとって、忘れられない作品となっています。

「ちっちゃなかみさん」は平岩弓枝さんを取り上げるようになった最初のきっかけとなった作品です

「自分の子なら、親は死に物狂いになったって、守り抜いてみせるものです」

そんな言葉が胸にひびいていました。

じつとゆったりとした時間を過して頂けたらと願っております。

小栗 久江 ～プロフィール～

学生時代に語りを志す。通信教育等を経た後に、高橋博氏(元NHKアナウンサー)、松丸晴生氏に師事。「おはなし飛行船」「あめんぼ」(朗読サークル)代表。素話や読み聞かせ、紙芝居の実演も行っている。CD「海潮音」(佐伯泰夫 作)ポートサイドステーションより発売。

住所 相模原市南区大野台 4-3-39
Tel・Fax 042-756-1838

2013年1月18日(金)

午後1時30分より

カナリヤの森「リンデンホール」

※要予約 1500円(お茶・お菓子付き)

～お問い合わせ/ご予約～

カナリヤの森

相模原市緑区上九沢 258 ☎042-762-4303

mail:sgt74@yb4.so-net.ne.jp

<http://minato666.exblog.jp/>